

水無月の須磨の緑を御らんぜよ

(正岡子規 作)



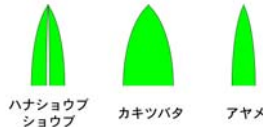
6月(水無月)です。
水無月は「水のない月」と書きますが、実は「無」は、神無月の無と同じ「の」にあたる連体助詞

で、水無月は「水の月」の意味です。旧暦の6月は田に水を引く月であることから、水無月と言われるようになったようです。

<アヤメと花ショウブとカキツバタ>



この時期、補習授業校のあるパラマス校の西側校庭にアヤメの花の一群が季節を主張しています。標記のよく似た3種類の花を見分ける方法は、咲いている場所や葉の形の違いから見分けるそうです。



親子の一生懸命協力し合う姿から、補習授業校を支えているのは一組一組の家族の力であることを再認識いたしました。



<1・2年親子「ボール運び」>

運動会委員の皆様をはじめ多くのボランティアの皆さま、そして中・高等部の皆さんの係活動の支援のお陰で無事終えることが出来ました。

この場を借りてお礼申し上げます。



<3・4年親子「大玉ころがし」>



<5・6年親子「二人三脚」>



<中高等部親子「綱引き」>



<閉会の言葉>

一人ひとりが主役の大運動会

ニュージャージー補習授業校の一大イベントである「大運動会」が5月29日(日)に開催されました。

今年の運動会は30℃近い暑さでしたが、熱中症や大きなケガもなく、予定通り全てのプログラムを実施することができました。



<かわいい選手宣誓>

毎回、感動をもたらす子どもたちの一生懸命な姿ですが、特に今年は、5つの親子競技において



<幼児部親子「親子でポイ」>

デジタル教科書解禁へ

— 文科省、2020年度の導入めざす —

文科相は、4月22日の「学習者用デジタル教科書」の在り方を検討する有識者会議において、小中高校で使われる教科書について、デジタル化を解禁する方針を提案しました。

デジタル教科書の導入は、次期学習指導要領の展開と同じ時間軸で進める方針です。以下に、6項目の提案を説明いたします。

※本校は3年前より「教師用デジタル教科書」を授業に活用しています。



本校の教員研修



1 デジタル教科書は紙の教科書との併用が適当

授業では、従来通り紙の教科書を使うことを基本とし、学習内容に応じて教科の一部で紙に代えてデジタル教科書を使うことを認める。

2 デジタル教科書の無償化は困難



<デジタル教科書を活用した6年国語>

義務教育で使うデジタル教科書は無償であることが望ましいが、紙の教科書との併用を前提にした場合、両方を無償にするのは困難。

3 デジタル教科書を使う端末は個人所有と学校備品のどちらも認める

デジタル教科書と紙の教科書を併用する場合は、デジタル端末は、自治体や学校の状況に応じて、個人所有、学校備品のどちらの形態も認める。

4 デジタル教科書の供給方法にはこだわらない

デジタル教科書の児童生徒への提供方法は、各児童生徒への記録媒体の配布、学校のサーバーから学習者端末へのダウンロード、教科書会社から学習者端末への直接配信のいずれの方法も認める。



5 デジタル教科書は検定しない

デジタル教科書に含まれる動画や音声コンテンツについては、基本的に検定を経ることを必要としない教材と位置付ける。

6 デジタル教科書の構成要素にビューアやハードウェアは含まない

デジタル教科書の構成要素はコンテンツのみとし、デジタル教科書を使用するためのビューアの標準化は、国と発行者が連携して検討していく。



<デジタル教科書を活用した5年算数>

教員の研修(教育基本法)

教員の研修に関する代表的な法律は、教育基本法第9条にあります。

そこには、「法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」と述べられています。

ニュージャージー補習授業校の教員は、日本の「法律に定める学校の教員」ではありませんが、子どもたちの人格形成に大きな影響を及ぼす教員という専門職には変わりありません。その職責の重要性を踏まえるならば、本校の教員も自らの資質能力の向上を図るため、常に研修に励まなければなりません。

本校の研修

1 全体研修

年間2回、全教員対象の研修を実施。過去3年間の内容は、「特別支援教育」

「授業力の向上」

「いじめ防止と対策」「教材・教具の工夫」「気になる子どもへの支援のあり方」「授業導入の工夫」(H29年1月予定)を実施。

2 授業研修

初等部と中等部の全教員が年1回、管理職の参観の下で授業を実施し、放課後管理職を交えた研修会を実施。

3 その他の研修

◎「朝一番のお話」

職員朝礼時、校長より「朝一番のお話」ペーパーを配布し、数分程度の教育講和を実施。

◎ワンポイントアドバイス:管理職による授業巡視後、教員に対して一言アドバイスを実施。

◎自主研修:教育講演会への参加や近隣の学校見学などの自主研修を実施。



<いじめ防止と対策研修の様子>



<授業力の向上研修の様子>